

Fiorano

Fiorano SOA プラットフォーム

ユーザーと権限の管理

対象バージョン: 2007 SP7 および 9.0.0



はじめに

このガイドブックは、Fiorano SOA プラットフォームにおけるユーザー管理とユーザーの権限管理について説明するものです。

このガイド ブックは、以下のガイドブックで説明されている知識を有していることを前提としています。

- Fiorano SOA プラットフォームの起動方法
- Fiorano SOA プラットフォームのアーキテクチャ概要
- Fiorano オーケストレータによるビジネス プロセス構築の概要 (基礎編)

目次

 1.1 ユーザー、グループ、権限の関係	1	ユーザー、グループ、権限	3
 1.2 権限の種類		1.1 ユーザー、グループ、権限の関係	3
 1.3 インストール状態での設定 (初期設定)		1.2 権限の種類	4
1.3.1 登録ユーザー		1.3 インストール状態での設定 (初期設定)	4
1.3.2 グループと権限5 1.4 初期状態の変更について		1.3.1 登録ユーザー	4
1.4 初期状態の変更について		1.3.2 グループと権限	5
		1.4 初期状態の変更について	5

2. ユーザーおよびグループの登録、削除、変更の方法	8
2.1 Service and Security Manager による登録、削除	8
2.1.1 Service and Security Manager の起動	8
2.1.2 ユーザー、グループ、権限の管理に必要な権限	10
2.1.3 グループの新規追加	11
2.1.4 権限の付与	12
2.1.5 ユーザーの登録	14
2.1.5 ユーザー、グループの削除	17
2.1.6 Service and Security Manager からのログアウト (停止)	19
2.2 Studio による登録、削除	20
2.2.1 ESB サーバー (Enterprise Server) へのログイン	20
2.2.2 ユーザーの登録、削除、パスワードの変更	21
2.2.3 グループの登録、削除	23



1 ユーザー、グループ、権限

1.1 ユーザー、グループ、権限の関係

Fiorano SOA プラットフォームでは、ユーザー、グループ、権限は下図に示す関係を持っています。



ユーザーは必ずどれかのグループに属します。複数のグループに属することもできます。ユーザー登録時には、自動的に EVERYONE グループに属するよう設定されます。

権限は、グループおよびユーザーに対して付与することができます。ユーザーは、属しているグループの権限を継承します。

グループには、そのメンバーとしてユーザーとグループを所属させることができます。

下の図のように、グループ B がグループ A のメンバーだとします。この場合、グループ B のメンバーであるユーザーは、 グループ A に付与されている権限も継承します。



ユーザーおよびグループは任意に追加、削除できますが、権限の種類はあらかじめ製品に設定されている以外のものを追加 したり、削除したりすることはできません。



1.2 権限の種類

Fiorano SOA プラットフォームは、次の権限が用意されています。

- 😼 PERMISSION TO CLEAR USER EVENTS
- 诸 PERMISSION TO PUSH MESSAGES IN QUEUE
- B PERMISSION TO CREATE OR EDIT AND DELETE A PRINCIPAL
- 3 ALL PERMISSIONS
- 诸 PERMISSION TO ADMINISTRATE A GROUP
- 诸 PERMISSION TO DELETE MESSAGES IN QUEUE
- B PERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION
- 诸 PERMISSION TO VIEW MESSAGES IN QUEUE
- B PERMISSION TO CHANGE PROPERTIES OF AN APPLICATION
- 🖓 PERMISSION TO CREATE OR EDIT AND REMOVE SERVICE ACL.
- B PERMISSION TO VIEW RUNNING AND SAVED APPLICATIONS
- 诸 PERMISSION TO KILL AN APPLICATION
- 😼 PERMISSION TO CONFIGURE A FPS
- 😼 PERMISSION TO CREATE AN ACL.
- PERMISSION TO CREATE OR UPDATE AND DELETE A SERVICE
- 诸 PERMISSION TO LAUNCH AN APPLICATION

1.3 インストール状態での設定 (初期設定)

1.3.1 登録ユーザー

インストール状態の設定 (初期設定) では、次の表に示すユーザーとグループが登録されています。

ユーザー名を大文字で表示していますが、ユーザー名に大文字、小文字の区別はありません。パスワードは、大文字、小文 字を区別します。

ユーザー名	属しているグループ	備考
ADMIN	EVERYONE, ADMINISTRATORS	デフォルトのシステム管理者アカウントとして使用
ANONYMO US	EVERYONE	
AYRTON	EVERYONE, WORKFLOW COMPOSER,	ワークリストのサンプル フロー用ユーザー
	TECH SUPPORT TEAM	
BOB	EVERYONE、MAINTENANCE	ワークリストのサンプル フロー用ユーザー
MICAEL	EVERYONE, PRODUCTION ENGINEERS	ワークリストのサンプル フロー用ユーザー
SCOTT	EVERYONE、GUEST	ワークリストのサンプル フロー用ユーザー

ADMIN、ANONYMOUS 以外のユーザーは、ワークリスト (Work List) のサンプル フロー用に登録されているユーザーです。

ANONYMOUS ユーザーは、リポジトリ内のコンポーネント フローおよび実行中のコンポーネントの閲覧権限が与えられて います。作成や変更を行えないユーザーですが、セキュリティ面から考えると、このユーザーは削除したほうがよいでしょう。 また、ワークリスト サンプル フローを実行しない場合は、AYRTON、BOB、MICHAEL、SCOTT のユーザーも削除したほう がよいでしょう。



1.3.2 グループと権限

インストール状態の設定 (初期設定) で登録されているグループと権限は、次の表のようになっています。各ユーザーに直接 与えられている権限はありません。権限は、すべてグループに与えられています。

グループ名	与えられている権限
EVERYONE	なし
GUEST	VIEW RUNING AND SAVED APPLICATIONS
	(実行中およびリポジトリ内に保存されているコンポーネント
	フローの閲覧)
PRODUCTION ENGINEER	CHANGE PROPERTIES OF APPLICATION
	(コンポーネント フローのプロパティ変更)
	VIEW RUNING AND SAVED APPLICATIONS
	(実行中およびリポジトリ内に保存されているコンポーネント
	フローの閲覧)
	KILL AN APPLICFATION
	(コンポーネント フローの停止)
	LAUNCH AN APLICATION
	(コンポーネント フローの起動)
MAINTENANCE	KILL AN APPLICFATION
	(コンポーネント フローの停止)
	LAUNCH AN APLICATION
	(コンポーネント フローの起動)
WORKFLOW COMPOSER	COMPOSE AN APPLICATION
	(コンポーネント フローの作成)
	CHANGE PROPERTIES OF APPLICATION
	(コンポーネント フローのプロパティ変更)
	VIEW RUNING AND SAVED APPLICATIONS
	(実行中およびリポジトリ内に保存されているコンポーネント
	フローの閲覧)
	(コンポーネント フローの停止)
	(コンボーネント フローの起動)
TECH SUPPORT TEAM	
	(実行中およびリボジトリ内に保存されているコンボーネント
	フローの閲覧)
	(コンホーネント フローの停止)
	(コンホーネント フローの起動)
ADMISTRATORS	すべて

1.4 初期状態の変更について

初期状態の設定について、次のように変更することを推奨します。変更に必要な操作方法は、次章で説明します。

- ➢ ADMIN ユーザーのパスワード変更
- ➢ ANONUMOUS ユーザーの削除
- ワークフローのサンプル フローを実行しない場合、次のユーザーの削除
 AYRTON、BOB、MICHAEL、SCOTT



また、WORKFLOW COMPOSER グループも削除する

- ▶ GUEST グループの削除
- 自社のセキュリティポリシーや開発チームの運営方法に応じて、次のグループに与えられている権限の削除や追加を行う

PRODUCTION ENGINEER, MAINTENANCE, TECH SUPPORT TEAM

または、これらのグループを削除し、開発者グループ、運用監視チームなどのグループを新たに作成するのも良い 方法です

EVERYOONE グループは、ユーザーが新規に登録される際に、自動的に所属するグループです。 また、グループを新規に作成した場合も、自動的に EVERYOEN グループのメンバーとして登録されます。

これは、すべてのユーザーとグループが EVERYONE のメンバーとなっており、EVERYONE に付与された権限 はすべてのユーザーとグループが継承することを意味しています。 初期状態では、EVERYONE グループには何も権限が付与されていません。すべてのユーザーが属するグルー プですので、権限を与えないまま運用することを薦めます。

なお、EVERONE グループに登録されているメンバーを削除することはできませんし、EVERYONE グループ自体を削除することもできません。

権限付与の方針

権限は、次の2つの方法で、ユーザーに付与することができます。

- 個々のユーザーに権限を付与する
- グループに権限を付与し、そのグループのメンバーとして所属する

自分を任意のグループのメンバーとして登録することは、次章で説明する Service and Security Manager にロ グインすることで自由に行えます。このため、権限を有しないユーザーでも、権限を付与されたグループに属するこ とでそのグループの権限を有することができてしまいます。

これを防ぐ方法は、以下の方法が考えられます。

- グループには重要な権限を付与しない
- Service and Security Manager の使用を、何らかの手段 (例えば OS の機能や外部セキュリティ管 理ツールなど) によって規制する
- ➤ ADMINISTRATORS グループ

前項で説明した理由により、多くの重要な権限が与えられているこのグループ自体を削除するか、グループの権限 を削除することを推奨します。

Fiorano

を 権限付与の設定 (例)

システム管理を行うユーザーとコンポーネント フローの開発を行うユーザーに分け、次の権限を与えます。 ここで挙げている権限は、一般的な作業に必要と思われるものです。作業内容に応じて、必要な権限を追加してく ださい。

システム管理者

CREATE OR EDIT AND DELETE A PRINCIPAL (ユーザー登録、削除)
CREATE AN ACL (権限の付与)
VIEW RUNNING AND SAVED EVENT PROCESSES (実行中およびリポジトリ内に保存されている コンポーネントフローの閲覧)
TERMINATE AN EVENT PROCESS (コンポーネント フローの停止)
LAUNCH AN EVENT PROCESS (コンポーネント フローの実行)
CONFIGURE A FPS (ピア サーバーのコンフィグレーション)

コンポーネント フロー開発者

コンポーネント フローの作成、削除、実行、停止、変更の権限を与えます。 COMPOSE AN APPLICATION (コンポーネント フローの作成) CHANGE PROPERTIES OF APPLICATION (コンポーネント フローのプロパティ変更) VIEW RUNING AND SAVED APPLICATIONS (実行中およびリポジトリ内に保存されている コンポーネントフローの閲覧) LAUNCH AN APLICATION (コンポーネント フローの起動) KILL AN APPLICFATION (コンポーネント フローの停止) CREAT OR UPDATE AND DELETE A SERVICE (ユーザー独自のサービス コンポーネントの 作成、変更、削除)



2. ユーザーおよびグループの登録、削除、変更の方法

ユーザーおよびグループの登録、削除は、次のツールで行うことができます。Service and Security Manager では権限の付 与、削除も行えますが、Studio では行えません。

- > Fiorano Service and Security Manager
- Fiorano Studio

この章では、次の例題にそって説明することとします。

- 1. 新規に DEVELOPER グループを作成する
- 2. DEVELOPER グループには、コンポーネント フローの作成に必用な権限を付与する
- 3. 新規ユーザー SUZUKI を登録し、DEVELOPER グループに所属させる

2.1 Service and Security Manager による登録、削除

2.1.1 Service and Security Manager の起動

Service and Security Manager は、スクリプト efssm.bat (Unix / Linux 版の場合は、fssm.sh) によって起動できま

す。

場所

```
(インストール ディレクトリ)/esb/tools/fssm/bin
```

Windows 版では、スタート メニューからも起動できます。

E	プログラム(<u>P</u>)	m	Fiorano	• 💼	Fiorano SOA 2007 Platform SP6	• 🛅	Fiorano ESB Console	۱.	
۵	最近使ったファイル(D) ・	•	Mozilla Firefox	۲	*	6	Fiorano Servers	۲L	
₽	設定(S) (6	iexplore.exe	Т		6	Fiorano Tools	Þ 🥰	Fiorano Deployment Manager
P	検索(<u>C</u>) ・	•	アクセサリ	•		6	Fiorano Web Console	80	} Fiorano Event Manager
0	ヘルプとサポート(<u>H</u>)	2	秀丸				*	4	Fiorano Services and Security Manager
0	ファイル名を指定して実行(R)		¥			_		E	Fiorano Studio

Service and Security Manager が起動すると、次のログイン画面が表示されます。入力情報については、次ページを参照してください。

ESB サーバーが起動していないとログインできませんので、注意してください。

Fiorano Services and Security Manager
Enterprise Server Login
Enterprise Server URL sp_tcp://localhost:1947
User Name
Password
(Default Login: admin/passwd) 🔲 Remember Me
Proxy Settings Ok Cancel



Enterprise Sever URL ログインする ESB サーバー (Enterprise サーバー) の URL を指定します。 デフォルト値として、次の値があらかじめ設定されています。

tsp_tcp://localhost:1947

デフォルトの ESB サーバー コンフィグレーションでは、各ツールは ポート 1947 に TCP プロトコルによって接続するよう 設定されています。ESB サーバーのコンフィグレーション設定を変更している場合は、それに合わせて URL を変更します。 また、別マシン上の ESB サーバーにログインする場合には、localhost ではなく、ESB サーバーの IP アドレス (またはリ モート ホスト名)を指定します。

User Name, Password

登録されているユーザー名とパスワードを指定します。

[注意]

Service and Security Manager にログインしても、適切な権限が設定されていないと登録、削除、変更が行えませんので、 注意してください。必要な権限については、次のセクション『2.1.2 ユーザー、グループ、権限の管理に必要な権限』を参照 してください。

初期状態で設定されているユーザー admin には、すべての権限が与えられています。パスワードは passwd です。

Proxy Settings

プロキシ サーバーを介して ESB サーバーに接続する場合には、[Proxy Settings …] ボタンをクリックします。表示さ れるダイアログ ボックスに、プロキシ サーバーへの接続情報を入力します。

情報を入力したら、[Ok] ボタンをクリックし、最初のログイン画面に戻ります。

Second Proxy Second	ettings		×
🔽 Use pro	xy server		
Address			
Port			80 🛨
User Name			
Password			
		Oł	Cancel

ログインに成功すると、次の画面が表示されます。



🞥 Fiorano Services and Security Manager						
<u>A</u> ctions <u>V</u> iew <u>H</u> elp	Actions <u>V</u> iew <u>H</u> elp					
🦸 🕵 🕵 🗈 📧	8 🗭 💯 😰 📓					
Diorano Enterprise	Security Policy					
🗄 🐻 Security Policy	🔁 Users					
	📆 Groups					
	De Access Rights Assignment					

左側のパネルにある Security Policy 以下のツリーを展開します。

Users、Groups、Access Rights Assignment をそれぞれクリックすると、右側のパネルに登録されているユーザー、グルー

プ、権限の種類がそれぞれ表示されます。



2.1.2 ユーザー、グループ、権限の管理に必要な権限

ユーザー、グループの管理に必要な権限は、下記の 2 つです。 この権限を有していないユーザーがログインしても、他のユーザーやグループの一覧を閲覧することはできますが、ユーザー やグループの設定情報を閲覧することも、ユーザー、グループの追加、変更、削除、権限の付与も行えません。 ただし、自分自身のパスワードの変更および自分自身へのグループの追加と削除(メンバーとして所属するグループの登録 および削除)は、行えます。なお、自身のユーザー アカウントを削除することはできません。

CREATE OR EDIT AND DELETE A PRINCIPAL

この権限を有しているユーザーは、ユーザーおよびグループの作成と削除、グループへのメンバー登録と削除が行えま す。また、各ユーザーのパスワードを変更できますが、変更前のパスワードを知っていなければなりません。 権限の付与、削除は行えません。

CREATE AN ACL

この権限を有しているユーザーは、権限をグループに付与することができます。 グループから権限を削除することはできません。

グループに与えられている権限を削除できるのは、ADMIN ユーザーだけです。



[注意]

CREAT OR EDIT AND DELETE A PRINCIPAL 権限しかを有していないユーザーは権限をグループやユーザーに付与す ることはできませんが、既存グループにユーザーを追加することができます。このことは、グループに追加したユーザーにグ ループがあらかじめ有している権限を付与できることを意味しています。

また、何の権限も有しないユーザーが Service and Security Manager ツールからログインし、自分自身を ADMINISTRATORS グループのメンバーとして登録することができます。このことは、悪意があるなしにかかわらず、セキュ リティ上のリスクとなります。

2.1.3 グループの新規追加

まず、新規のグループを追加作成します。

ツールバー上のグループ追加ボタンをクリックするか、左側パネルの Group を右クリックし、メニューから [NEW Group …] を選択します。

Security Manager Security Manager	
<u>A</u> ctions <u>V</u> iew <u>H</u> elp	
8 🕺 🕵 😰	
Diorano Enterprise	Group Name
🖻 🔚 Security Polic グループ追加	M PRODUCTION ENGINEER
	🛃 GUESTS
Rew Group	1 TECH SUPPORT TEAM
Refresh	EVERYONE
	M ADMINISTRATORS
	MAINTENANCE
	1 WORKFLOW COMPOSER
1	l l

次のダイアログ ボックスにグループ名を入力し、[了解] ボタンをクリックします。



右ペインに指定したグループが追加されます。

Services and Security Manager						
Actions View Help						
8 🦻 🗱 😫 🗷						
Fiorano Enterprise	Group Name	Members				
🖻 💮 📻 Security Policy	🛃 DEVELOPER					
	1 PRODUCTION ENGINEER	MICHAEL				
Groups Groups Access Rights Assignment	🛃 GUESTS	SCOTT				
Tes Access regris Assignment	M TECH SUPPORT TEAM	AYRTON				

作成した DVELOPER グループには、所属するメンバー (ユーザー) がまだ登録されていないことが、この画面からわかり ます。また、DEVELOPER グループは、EVERYOONE グループのメンバーとなったこともわかります。



```
このグループを右クリックすると、このグループに対して実行できるアクションが表示されます。
```

Services and Security Manager	
<u>A</u> ctions <u>V</u> iew <u>H</u> elp	
8 🦻 🕵 😫	
Fiorano Enterprise	Group Name
Security Policy Jesers Groups Access Rights Assignment	Image: Developer Add To Group Image: PRODUCTION EN Delete Image: Developer Delete Image: Developer Properties Image: Developer Everyone

[Add To Group]: このグループを他のグループへ所属させる (他のグループのメンバーとする) [Delete]: 削除する [Properties ...]: このグループのプロパティを表示する

[Properties …] を選択すると、次のダイアログ ボックスが表示されます。

Stroup Properties : DEVELOPER	x
General Permissions	
Group Description A Tifosi Group	
Members :	
Add Remove	
Ok Cancel	

このダイアログ ボックスでは、次のことが行えます。

[GENERAL:] タブ : グループに属するメンバーの登録もしくは削除 (グループをメンバーとして追加することはできません。

[Permissions] タブ: このグループに与えられている権限の表示(権限の付与や削除は行えません)

今は何も設定しないで、[Cancel] ボタンをクリックします。

2.1.4 権限の付与

左側のパネルで [Access Rights Assignment] を選択すると、右側のパネルに権限の一覧が表示されます。 [PERMISSIONS TO COMPOSE AN APPLICATION] を右クリックし、[Properties …] メニューを選択します。



Security Manager		
<u>A</u> ctions <u>V</u> iew <u>H</u> elp		
8 🦻 🗱 😫 🖻		
Diorano Enterprise	Network Rights	Assigned To
E Generative Policy	BERMISSION TO CLEAR USER EVENTS	ADMINISTRATORS
	Contraction TO PUSH MESSAGES IN QUEUE	ADMINISTRATORS
Access Rights Assignment	B PERMISSION TO CREATE OR EDIT AND DELETE A PRINCIPAL	ADMINISTRATORS
	🖓 ALL PERMISSIONS	ADMINISTRATORS
	B PERMISSION TO ADMINISTRATE A GROUP	ADMINISTRATORS
	Contraction To delete messages in queue	ADMINISTRATORS
	BERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION	MORKEL OVV COMP
	Prope Prope	rties RATORS
	DERMISSION TO CHANGE DRODERTIES OF AN ADDITICATION	

次のダイアログ ボックスが表示されます。この権限が既に、WORKFLOW COMPOSER と ADMINISTRATORS に与え られていることが分かります。

Access Control : PERMISSION TO COMPOSE AN AP 🗙
PERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION
Assigned To :
WORKFLOW COMPOSER
Add Remove
Ok Cancel

DEVELOPER グループにこの権限を付与するために、[Add …] ボタンをクリックします。 ユーザーおよびグループの一覧を表示したダイアログ ボックスが表示されます。

Select User(s) or Group(s)	×
Select User(s) or Group(s)	
DEVELOPER PRODUCTION ENGINEER GUESTS TECH SUPPORT TEAM EVERYONE MAINTENANCE ADMIN AYRTON MICHAEL SCOTT ANONYMOUS EOB	
Ok Cancel	

DEVELOPER を選択し、[Ok] ボタンをクリックします。



Access Control : PERMISSION TO COMPOSE AN AP 🗙
PERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION
Assigned To :
WORKFLOW COMPOSER ADMINISTRATORS DEVELOPER
Add Remove
Ok Cancel

DEVELOPER が追加されて表示されます。[Ok] ボタンをクリックすると、追加が確定します。

2.1.5 ユーザーの登録

左パネルの [User] を右クリックし、[New User …] を選択します。または、メニューバーの [Actions] のプルダウン メニューから [New User …] を選択します。

Services and Security Manager	
Actions View Help	
8 🦻 🥵 🕼	
Diorano Enterprise	User Name
E Generative Policy	🥵 ADMIN
	🕵 AYRTON
Acc Refresh	MICHAEL
	SCOTT
	S ANONYMOUS
	🕵 вов

次のダイアログ ボックスが表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、[了解] ボタンをクリックします。 ユーザー名は大文字、小文字を区別しませんが、パスワードは大文字、小文字を区別します。

Create I	New User	×
?	User Name: SUZUKI Password: ******	
	Retype Password: ****** 了解 取消し	

一覧に、今作成した SUZUKI が表示されるようになります。自動的に、EVERYONE グループに所属するよう設定されています。



User Name	Member of
🥵 ADMIN	EVERYONE, ADMINISTRATORS
🥵 AYRTON	EVERYONE, WORKFLOW COMPOSER, TECH SUPPORT
🥵 MICHAEL	EVERYONE, PRODUCTION ENGINEER
🥵 SCOTT	EVERYONE, GUESTS
S ANONYMOUS	EVERYONE
🥵 suzuki	EVERYONE
🥵 вов	EVERYONE, MAINTENANCE

SUZUKI を右クリックし、プルダウン メニューから [Properties ...] を選択します。次のダイアログ ボックスが表示されます。

🎇 User Propertie	s : SUZUKI	×
General Member	Of Permissions	
🕵 suzuki		
Full Name	ZUKI	
Description A	Tifosi User	
	Ok Cancel	

[Member Of] タブをクリックします。

🎇 User Properties : SUZUKI	×
General Member Of Permissions	
Member Of :	
1 EVERYONE	
Add Remove	
Ok Cancel	

DEVELPER グループに所属させるために、[Add …] ボタンをクリックします。

表示されたダイアログ ボックスで DEVELOPER を選択し、[Ok] ボタンをクリックします。





ダイアログ ボックスの [Ok] ボタンをクリックして、追加を確定します。

再度、SUZUKI のプロパティを表示させます。SUZUKI を右クリックし、プルダウン メニューから [Properties ...] を選 択するか、SUZUKI の行をダブルクリックします。

現れたダイログ ボックスの [Permissions] タグをクリックします。DEVELOPER グループの権限が SUZUKI に継承さ れていることがわかります。

Strain Suzuki 😵 🖓 🚱 🏀 🏀 🏀	X
General Member Of Permissions	
Network Permissions :	
PERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION	
Ok Cancel	

COMPOSE AN APPLICATION 権限が付与されたことが確認できたら、[Ok] ボタンか [Cancel] ボタンをクリックしてダイ アログ ボックスを閉じます。



2.1.5 ユーザー、グループの削除

ユーザーを削除するには、削除するユーザーを右クリックし、[Delete]を選択します。



削除を確認するためのダイアログが現れますので、[はい]をクリックします。

Delete	User 🔀	
i)	WARNING : User cannot be restored after deletion. Are you sure you want to delete the user?	
	<u>(はいい)</u> いいえ (<u>N</u>)	

次のように削除が完了したことが表示されます。

メッセージ	;	×
i)	User Deleted Successfully	
	了解	

ユーザーに直接権限が付与されている場合、次のエラー メッセージが表示されます。上述のケースでは、SUZUKIの権限 は、グループ DEVELOPER のものを継承したものであったため、このエラーとはなりませんでした。

Error	×
8	PRINCIPAL_BOUND = Can't Delete Principal. Its Bound to ACL = PERMISSION TO KILL AN APPLICATION

このエラーとなる場合には、ユーザーを削除する前に、そのユーザーに直接付与されている権限をすべて削除してください。

同様に、グループを削除する場合も付与されている権限を先に削除します。

DEVELOPER に付与されている権限を削除するには、COMPOSE AN APLICATION を右クリックし、[Properties ...] を選択します。

Contraction to delete messages in queue	ADMINISTRATORS
BERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION	DEVELOPER,WORKF
PERMISSION TO VIEW MESSAGES IN QUEUE Properties	ADMINISTRATORS
B PERMISSION TO CHANGE PROPERTIES OF AN APPLICATION	WORKFLOW COMPC
R3	· - · ··· ·· ·



次に、現れたダイアログ ボックスで、DEVELOPER を選択し、[Remove] ボタンをクリックします。[OK] ボタンで確定します。

Second Stress Control : PERMISSION TO COMPOSE AN AP 🗙
PERMISSION TO COMPOSE AN APPLICATION
Assigned To :
DEVELOPER
Service Composer
ADMINISTRATORS
Add Remove
Ok Cancel

権限が削除できたら、Groups ノードで DEVELOPER を右クリックし、メニューから [Delete] を選択します。

Fiorano Enterprise	Group Name				
E Geourity Policy	W EVERYONE				
	🛃 GUESTS				
Groups Access Pickte Accircment					
Access Rights Assignment	PRODL Add To Group				
	MAINTI Delete				
	ADMIN Properties				

1 WORKFLOW COMPOSER

削除を確認するためのダイアログが現れますので、[はい]をクリックします。



次のように削除が完了したことが表示されます。





2.1.6 Service and Security Manager からのログアウト (停止)

[Actions] ファイル メニューから [Exit] を選択します。

Services and Security Manager				
Actions View Help				
🕜 Register New Business Service	Ctrl+R			
🕵 New User	Ctrl+U	User Name		
🕵 New Group	Ctrl+G	🕵 AYRTON		
Exit	Alt+F4	🕵 ANONYMOUS		
Access Rights Assignment		MICHAEL		



2.2 Studio による登録、削除

Studio では、ユーザーおよびグループの新規登録と削除、グループへのメンバー登録と削除、パスワード変更が行えます。 ただし、権限の付与や権限の削除は行えません。Studio では、ユーザーやグループに付与されている権限を見ることもでき ません。

2.2.1 ESB サーバー (Enterprise Server) へのログイン

ログイン ウィンドウで Enterprise Server を選択します。



プロパティ ウィンドウに Enterprise Server (ESB サーバー) のプロパティが表示されます。

プロパティ ウィンドウが表示されていない場合は、メニューバーにある [ウィンドウ (W)] のプルダウン メニューから [Properties] を選択してください。プロパティ ウィンドウが表示されます。

プロパティ ウィンドウにログイン情報を入力します。

セキュリティ プリンシパル:ユーザー名 **セキュリティ証明書**:パスワード

[注意]

Enterprise Server (ESB サーバー) にログインしても、適切な権限が設定されていないと登録、削除、パスワード変更が行 えませんので、注意してください。必要な権限については、セクション『2.1.2 ユーザー、グループ、権限の管理に必要な権 限』を参照してください。

初期状態で設定されているユーザー admin には、すべての権限が与えられています。パスワードは passwd です。

[注意]

初期設定の状態では、ログイン ウィンドウに表示されるすべてのサーバーに対してログイン ユーザー名 admin とその初期 パスワードが設定されています。

セキュリティ面から次の方法をとることを推奨します。

> admin の初期パスワードを変更し、新規パスワードは限られた管理者にのみ公開する



- ログイン ウィンドウに表示されるすべてのサーバーに対して、そのプロパティ ウィンドウに設定されているユーザ 一名とパスワードを消去する
- > 各サーバーへのログインは、個人のユーザー アカウントで行う
- > ログイン時にユーザー名とパスワードを入力し、ログアウト時に必ずユーザー名とパスワードを消去しておく

Enterprise Server にログインすると、エクスプローラ ウィンドウが現れ、Enterprise Server のリソースがツリー表示されま す。[セキュリティ] ノードを展開すると、[ユーザー] と [グループ] が表示されます。

÷.	エクスプロ-ラ 🛛 🔍 🗙	🔀 Enterprise Server ×] Properties of セキ:
じし	K Enterprise Server	← ▪ ⇒ ▪ 🏂 ▪ 📖 🎟 💷	
5	Event Process Repository	セキュリティー セキュリティは有効にしています。	1 日 全体
È	🕀 🗄 Peer Repository		10 エロー
0	🗄 📋 Service Repository	MAC 1 (AC) の P (A) (AC)	
	白…��� セキュリティ	<u>■</u> #: クルノ はい	
	- 👰 ガルプ		
	I I	1	

2.2.2 ユーザーの登録、削除、パスワードの変更

エクスプローラ ウィンドウで [ユーザー] ノードをクリックすると、登録されているユーザーの一覧が表示されます。Enterprise Server にログインしている状態のユーザーは、ボールド (太字)表示されます。

E	Fiorano Studio						
8.73	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ナビゲート(N) ソース(S) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)						
3	📐 💽 🛥 🎓 🗒 🖉 🛯 🛫 🖉 🛤 🛤 🎮 🎮 🖉 🖉 💱 🔮 🖉 🏂 🖉						
÷.]エクスプロ-ラ 🛛 🗙	🔀 Enterprise Server 🗵					
ンプラ	Enterprise Server	⇔ • ⇒ • 🔊 • 🖽					
7		ユーザ	メンバー	Connected			
2	The Service Benository	🖉 ADMIN	ADMINISTRATORS, EVERYONE	はい			
2		🖉 ANO NYMO US	EVERYONE	いいえ			
		🖉 AYRTON	EVERYONE, TECH SUPPORT TEAM.	.はい			
		😰 BOB	EVERYONE, MAINTENANCE	いいえ			
		🖉 MICHAEL	EVERYONE, PRODUCTION ENGINE	いいえ			
		A		1.1.1.V			
		SCOTT	EVERYONE, GUESTS	いいえ			

[ユーザー] ノードを右クリックし、メニューから [追加ユーザー (A)] を選択します。





ダイアログ ボックスにユーザー名を入力し、[了解] ボタンをクリックします。

入力	×
2	New ユーザ (password will be same as name) suzuki
	了解 取消し

ユーザー SUZUKI が新規に追加されます。上記ダイアログボックスでユーザー名を小文字で入力しても、表示の際は大文字となります。ユーザー名は大文字、小文字を区別しませんが、パスワードは、大文字、小文字を区別しますので注意してください。

ユー	ザ	メンバー	Connected
🖉 AD	MIN	ADMINISTRATORS, EVERYONE	はい
💈 AN	0 N	EVERYONE	いいえ
💈 AYI	RT	EVERYONE, TECH SUPPORT TEAM	いいえ
💈 BO	В	EVERYONE, MAINTENANCE	いいえ
💈 MIC	HA	EVERYONE, PRODUCTION ENGINE	いいえ
💈 SC(оπ	EVERYONE, GUESTS	いいえ
💋 SU:	ZUKI	EVERYONE	いいえ

[注意]

Studio でユーザーを新規に追加した場合、パスワードは自動的に設定されます。設定されるパスワードは、ユーザー名と同 ーです。ユーザー名を大文字で入力した場合には、パスワードも大文字となります。

初期パスワードはユーザー名と同一ですので、速やかにパスワードを変更します。

パスワードの変更は、新規に追加したユーザーが自らログインして行うことも、ユーザーを登録した管理者が行うこともできます。

パスワードを変更するには、ユーザー名を右クリックし、メニューから [パスワードを変更] を選択します。

🗾 🖉 SCO	Π	E	VERYONE, GUI	ESTS	いいえ
🖉 SUZ		パスワードを変す	ŧ		いいえ
		ታንኑ(፲)	Ctrl+X		
		⊐Ľ−(<u>C</u>)	Ctrl+C		
		ペースト(<u>P</u>)	Ctrl+V		
		削除(<u>D</u>)	Delete		
		名前を変更			

次のダイアログ ボックスが現れますので、に新規パスワードを指定し、[了解] ボタンをクリック「します。

🗾 パスワードを家	قو 🗵 🗾
古いパスワード	*****
新規パスワード	*****
パスワードを確認	*****
	了解 取消し



ユーザーを削除するには、削除するユーザーの行を右クリックし、メニューから [削除] を選択します。

EVERYON	IE, GUESTS	いいえ
パスワードを変更	[いいえ
かり	Ctrl+X	
⊐ピー©)	Ctrl+C	
ペースト(<u>P</u>)	Ctrl+V	
肖川除(D)	Delete	
名前を変更		
	EVERYON パスワードを変更 カット(T) コピー(Q) ペースト(P) 「別除(D) 名前を変更	EVERYONE, GUESTS (スワードを変更) カット① Ctrl+X コピー@ Ctrl+C ペースト(P) Ctrl+V

次の確認ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。

1 オブジェクト剤除の確認				
2	本当に SUZUKI を削除しますか?			
	(ば い) いいえ(N)			

『2.1.5 ユーザー、グループの削除』のセクションで説明したように、ユーザーに権限が直接付与されている場合には、削除 できません。次のメッセージが表示されます。

🚺 不明	な例外(1の1)	×
\bigcirc	fiorano.tifosi.common.TifosiException	
	PRINCIPAL_BOUND :: Can't Delete Principal. Its Bound to ACL :: PERMISSION TO CONFIGURE A FPS	
	閉じる]
	1の1 トリ 不明な例外 深さ4 🗎 🔒	1

このような場合には、Service and Security Manager を用いて、権限の削除を行ってください。

2.2.3 グループの登録、削除

エクスプローラ ウィンドウで [グループ] ノードをクリックすると、登録されているグループの一覧が表示されます。

Ť.] エクスプロ-ラ 🛛 🛚 🗙	🔀 Enterprise Server 🛛 🛛		
Ū.	🔀 Enterprise Server	🖕 • 🔿 • 👧 • 🎫 🚍		
3	🗄 🔲 Event Process Repository	Bu -		1
E.	🕀 🔄 Peer Repository		>2/11-	571-
2	🗄 🗍 Service Repository	₩ ADMINISTRATORS	EVERYONE	ADMIN
~		Provide the second seco	EVERYONE	SUZUKI
		Severyone 😨		ADMIN, ADMINISTRATORS, AN
		😨 GUESTS	EVERYONE	SCOTT
		Se MAINTENANCE	EVERYONE	BOB
		PRODUCTION ENGINEER	EVERYONE	MICHAEL
		TECH SUPPORT TEAM	EVERYONE	AYRTON
			EVERYONE	AYRTON
	└────────────────────────────────────	WAINTENANCE PRODUCTION ENGINEER TECH SUPPORT TEAM	EVERYONE EVERYONE EVERYONE EVERYONE	BOB MICHAEL AYRTON AYRTON



⊡— 🚺 Service ⊡— 🖺 セキュリ	e Repository 71		OPER	EVERYONE	۲ ع
- ב 🛂 	<u>-ザ</u> 追加 グルプ(<u>A</u>)		S ENANCE	EVERYONE EVERYONE	E E
	カット(T) コピー(C) ペースト(P)	Ctrl+X Ctrl+C Ctrl+V	ICTION ENGINEER SUPPORT TEAM LOW COMPOSER	EVERYONE EVERYONE EVERYONE	N F F
	 削除(<u>D</u>) 名前を変更	Delete			

【グループ】 ノードを右クリックし、メニューから [追加グループ (A)] を選択します。

ダイアログ ボックスにグループ名を入力し、[了解] ボタンをクリックします。

入力		×
?	New グルプ developer	
	了解取消し	

グループ DEVELOPER が新規に追加されます。上記ダイアログ ボックスでグループ名を小文字で入力しても、表示の際 は大文字となります。グループ名は大文字、小文字を区別しません。

- Florer 📑 🛛 Peer	Repository	グルプ		メンバー	
🕂 📑 Foor	vice Repository	😵 ADMINISTRATORS	EVERYONE		ADMIN
□ <mark> 0</mark> 17≱	·민국고	😨 EVERYONE			ADMIN, ADMINI
		😨 GUESTS	EVERYONE		SCOTT
	1 7 Ku-3	Se MAINTENANCE	EVERYONE		BOB
	5707	PRODUCTION ENGINE	EVERYONE		MICHAEL
	5	TECH SUPPORT TEAM	EVERYONE		AYRTON
	5	WORKFLOW COMPOSE	EVERYONE		AYRTON
	5	😵 DEVELOPER	EVERYONE		

グループにメンバーを登録するには、グループ名を右クリックし、メニューから [メンバー]を選択します。

WORKFLOW COMP	OSE EVERYONE		AYRTON
Section 2017	パスワードを変更		
		Ctrl+X	
	⊐ピ–©)	Ctrl+C	
	ペースト(<u>P</u>)	Ctrl+V	
	削除(<u>D</u>)	Delete	
	名前を変更		
	メンバー		

次のダイアログ ボックスが表示されますので、[追加] ボタンをクリックします。



<u> </u> 足 メンバー	×
	<mark>追加</mark> ↓ 除去
	了解

ユーザーおよびグループが一覧表示されますので、メンバーとするユーザー (もしくはグループ) を選択し、[了解] ボタンを クリックします。

追加	X
SCOTT	
W ADMINISTRATORS	
EVERYONE	
🕎 GUESTS	
MAINTENANCE	
Y PRODUCTION ENGINEER	
TECH SUPPORT TEAM	
WORKFLOW COMPOSER	
TA DEVELOPER	<u> </u>
〒 67	
1 HFF	

選択したユーザーがメンバーとして追加されますので、[了解] ボタンをクリックして確定します。

2 メンバー	X
🛿 SUZUKI	<u>追加</u> ▼ 除去
	了解

グループを削除するには、削除するグループの行を右クリックし、メニューから [削除] を選択します。



	SE EVERYONE		AYRTO
TEVELOPER	EVERY	パスワードを変更	UKI
			Ctrl+X
		⊐ピー©)	Ctrl+C
		ペースト(<u>P</u>)	Ctrl+V
		肖川涂(<u>D</u>)	Delete
		名前を変更	
		メンバー	

次の確認ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。

📕 オブジ	1. オブジェクト剤除の確認				
本当に DEVELOPER を削除します た					
	(まい) いいえ (N)				

これでグループを削除できます。